

令和4(2022)年度 指定管理者制度導入施設 管理運営評価結果書

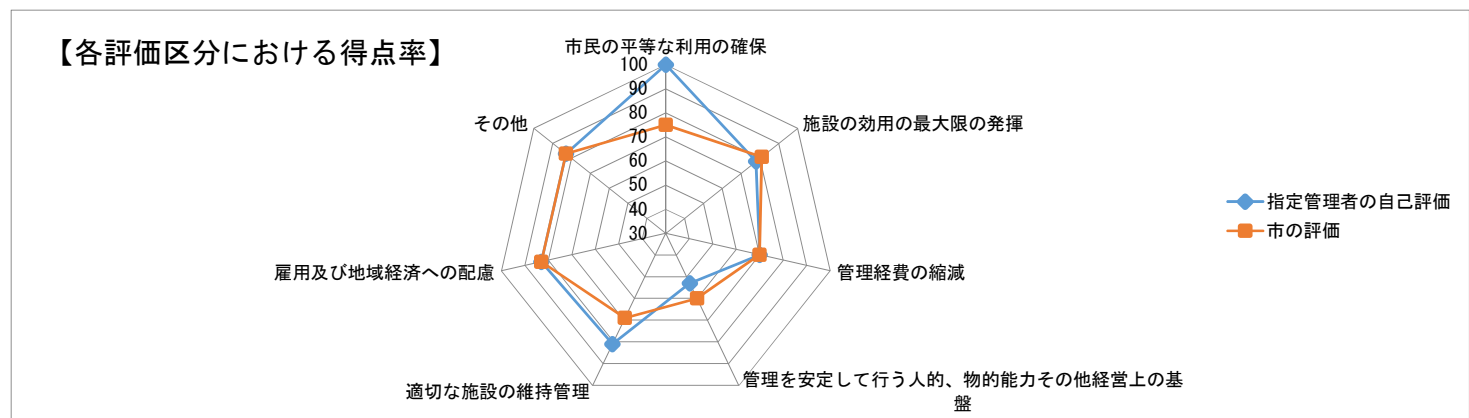
施設名称	大槻公園		施設区分	施設管理型			
施設所在地	郡山市大槻町字漆棒70番地1		指定管理者	学校法人国際総合学園			
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日		施設所管部課	都市構想部公園緑地課・こども部こども家庭未来課			
評価項目	評価基準	配点(標準点)	指定管理者自己評価	自己評価コメント	市評価	市評価コメント	特記事項
I 市民の平等な利用の確保							
1	平等利用	市民の利用にあたり、公平であるか。(例: 使用許可、使用料等の減免、利用の制限等)	2(1)	2	全利用者に対し公平な対応を行い、減額免除や利用制限については条例などに従った対応を行った。	2	
2	危機管理、事故・災害等への対策・対応	事故・災害発生時又は危険予測時の対策・対応が行われているか。(例: マニュアル整備、訓練等)	2(1)	2	緊急時対応はマニュアルと指示に従った行動ができるように日頃から訓練や社内教育を実施した。	1	予定された訓練を実施し、災害への対応がなされている。
小計		4	4		3		
II 施設の効用の最大限の発揮							
3	管理運営方針	市が示している管理運営方針及び仕様書に合致した、施設の管理運営がなされているか。	4(3)	2	市が提示した管理運営方針や仕様書の水準を下回る点があった。	2	
4	事業実施状況	計画どおり事業が実施されているか。サービス上の取り組みがなされているか。	4(3)	3	感染症予防に配慮しながら主催事業を全て実施した。	3	
5	広報・PRの実施	利用促進のための取り組みを実施しているか。(例: 事業の開催案内、ホームページの管理等)	4(3)	4	広報こおりやま、SNS、パブリシティを通じて認知度を高め利用者の増加を図った。	4	
6	接客態度	言葉づかい、態度、電話対応、名札、服装等は適切か。	4(3)	4	社内研修を通じて接客能力を高めた。	4	
7	苦情・要望の把握・対応	利用者からの意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。(記録簿整備を含む。)特に重要な事業については、遅滞なく市へ報告しているか。	4(3)	3	利用者からの苦情や指摘に対して即座に対応した。	3	
8	市、関係機関、類似施設、地元等との連携	市、他の指定管理者、関係機関、類似施設、周辺施設、地元等との連携を図っているか。(例: 施設間の回遊・相互利用、地元とのタイアップ、積極性等)	4(3)	3	国際ビジネス公務員大学校、郡山市子育て支援企業組合、郡山自然の家と連携し事業を行った。	4	学生によるボランティアや外部講師などを積極的に活用していた。
9	利用者アンケートへの対応状況	利用者アンケートによる指摘のうち、改善すべき事項について対応を図っているか。	3(2)	2	枯木の伐採、ハチの巣の除去など指摘された点は即座に対応した。	2	
小計		27	21		22		
III 管理経費の縮減							
10	帳簿管理・経理	帳簿等は適正に管理されているか。契約に当たり、適正な経費算定(積算)が行われたか。業務委託や修繕について適正な監督、検収が行われたか。	5(3)	3	会計基準に従った経理処理と証憑書類の管理を行った。	3	
11	収入確保、支出の適正化等、予算の執行状況	収入確保の取組みを推進しているか。指定管理料を含め、支出が適正に行われたか。	5(3)	4	スーパースライダーの売上を事業収入の主要項目として確保した。	4	
小計		10	7		7		
IV 管理を安定して行う人的、物的能力その他経営上の基盤							
12	人員・研修体制	人員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。必要な資格、経験等を有する人員が確保されているか。職員に対し研修を実施しているか。	5(3)	3	人員配置については、勤務実績、必要資格所有の有無、経験等を重視し、適正な人員を確保した。	3	
13	収支状況	収支予算書どおりの収支状況となっているか。	5(3)	3	電気料金・物価の高騰による経費増大が心配されたが、節電に加え、消耗品費や委託料の節減に努め、指定管理の収支において黒字となった。	4	照明をこまめに切る、空調を手動で管理するなど、節電への積極的な取組が見られた。
14	連絡調整	協定書等に従い、市への各種届出、報告、提出、協議、相談等を適切に行っているか。市や地域、関係機関との連携調整を適切に行っているか。	5(3)	2	協定に従い報告を行ったが、一部人員配置の変更に関して、事前の協議を失念した。	2	
小計		15	8		9		
V 適切な施設の維持管理							
15	施設・設備の保守管理	法定点検が確実に行われているか。施設・設備が適切に利用できるような状態が保持されているか。(修繕を含む。)	12(5~7)	8	それぞれの法令に従い、法定点検を実施した。	5	前年度指摘事項である修繕が必要な施設のリスト化と計画案が策定されておらず、修繕予定のない使用禁止遊戯施設等が複数見られる。
16	安全の確保	建物・設備等が安全に利用できるような状態が保持されているか。	5(3)	4	利用者が安全かつ快適に利用できるように日々の点検と修繕を行った。	3	点検を行った実績は確認できるが、修繕が必要な施設の対応未了物件が見られる。
17	清掃・衛生・美観維持	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。市の指定管理施設にふさわしくないチラシやパンフレットの陳列、ポスター掲示等はないか。	5(3)	4	毎日の業務として清掃や消毒作業を行った。	4	
18	備品の管理	備品が適切に管理されているか。	3(2)	3	備品の保管場所を整理整頓し、備品台帳とも整合性が図りながら、適正に管理した。	3	
19	持ち込み物品等の管理	持ち込み物品等が適切に管理されているか。(例: 持ち込み物品等管理簿、表示等)	3(2)	3	持ち込んだ備品は適正に管理した。	3	
20	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告、手続き等を行っているか。	2(1)	2	全職員がコンプライアンス研修を受け日々の業務を行った。	2	
21	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されているか。個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じているか。	2(1)	2	全ての職員が個人情報に関する研修を受け日々の業務を行った。	2	
小計		32	26		22		
VI 雇用及び地域経済への配慮							
22	雇用・労働条件への配慮	労働基準法等の労働関係法令、郡山市公契約条例等の順守がなされているか。労働条件への配慮は十分か。	3(2)	2	条例を遵守し、労働条件に配慮した運営を行った。	2	
23	地域経済への配慮	計画通りに市内からの職員採用を行っているか。再委託は計画通り適正に行われているか。市内事業者への再委託を行っているか。	3(2)	3	職員は市内在住者で業務再委託先も市内の業者であった。	3	
小計		6	5		5		

(様式2)

Ⅶ その他							
24	活動指標	設定した指標の目標値（開園日：大槻公園314日、体験学習施設314日）を達成しているか。	2(1)	2	目標を達成することが出来た。 (結果：大槻公園315日、体験学習施設315日)	2	
25	成果指標	設定した指標の目標値（施設利用者数：大槻公園64,500人、体験学習施設19,200人）を達成しているか。	2(1)	1	目標未達であったが、一定数の成果を挙げることが出来た。 (結果：大槻公園 62,158人、体験学習施設 11,281人)	1	
26	指定管理業務への姿勢	積極的な管理運営、市に協力的であるか 地域や民間事業者と円滑な関係を構築しているか	2(1)	2	利用者増加のためSNSなどで情報発信し、公園を地域のために積極的に貸し出した。	2	
			小計	6	5	5	
	合計点		100	76		73	

		実 績					
		令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度	令和5（2023）年度	合計
指定管理料	（千円）	22,236	22,227	22,278	22,418		89,159
利用料金収入	（千円）	2,758	2,548	2,497	3,449		11,252
利用者数	（人）	82,353	77,922	72,751	73,439		100,411
二次評価 （市の評価）		B ⁺	B ⁺	B ⁺	B		
備 考		台風19号、新型コロナウイルス感染症の流行	新型コロナウイルス感染症の流行	新型コロナウイルス感染症の流行に伴う利用制限	新型コロナウイルス感染症に対する利用制限の継続と制限の緩和		

サービス向上対策	
・	利用者に話しかけることで、利用者の声を吸い上げ対応策を講じた。
・	市内にある他の施設やグループ校との連携でご利用者が満足するサービスを提供した。
・	コロナ感染症予防のため清掃と消毒作業を日々行うことで安心して利用できる施設を目指した。



【一次評価（指定管理者による自己評価）】

評価	点数	評価内容
B ⁺	76	<p>【総合評価（評価できる点等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染予防の為、遊具や玩具の消毒作業を昨年度以上に行った。 ・市内にある他の施設や専門学校と連携した主催事業を行い多くの方から好評を博した。 ・グループ校の学生にボランティアとして主催事業の運営に協力してもらった。 ・市民からのご意見に対して可能な限り早急に対応した。 ・園内の環境美化を図るため、作業を計画的に実施した。 <p>【次年度に向けて改善が必要な点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設全体が老朽化しているので、見回りを行い修繕が必要な箇所を早期に発見し対応する。 ・多額な費用を要する修繕箇所が多々あるので市との連絡を密にする。 ・利用者の要望が多様化する中、安全と公平性を担保しながら、可能な限り応えていく。

【二次評価（市による評価）】

評価	点数	評価内容
B	73	<p>【総合評価（評価できる点等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビや雑誌などといったパブリシティを活用し、積極的な情報発信に努めている。 ・市内の他施設との連携事業や同グループの学校の生徒によるボランティアなど、各団体と円滑に協力できている。 <p>【次年度に向けて改善を望む点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用できる状態で保持されていない遊具が複数見受けられるため、修繕のための対応が求められる。特に修繕が必要な施設のリスト化と修繕計画案は早急に策定すること。 ・貴重な山野草の保護のため、地図などを作成するなど内部で情報共有しやすい工夫をしてほしい。

【改善のための行動計画】

行動計画
<p>【前年度の指摘事項】</p> <p>スーパースライダーだけでなく園内の施設や遊具が老朽化しているので計画的な修繕を行うこと。そのためにリスト化と計画案の策定を行う。</p>
<p>【改善対応状況】</p> <p>前年度のご指摘を受けて、修繕を計画的に行うことができたものがある一方で2022年度だけでは対応ができなかったものもある。そのため対応が不十分であった点は2023年度も継続して取り組み、経年による老朽化を少しでも食い止める。</p>